

2016 年度第 8 回セミナー・議事録

1. 日時：2016 年 11 月 22 日（火） 18:00～20:00
2. 場所：富山県立大学 環境工学科棟 I-333 地域協働支援室
3. 参加者：9 人
4. 講師：名古屋大学名誉教授 岩田好一朗 先生
5. 題目：沿岸海域での波の変形と制御 ―その基礎―
6. 報告内容
 - (1) 海岸保全構造物・施設
海岸浸食防止：離岸堤工法、ヘッドランド工法
湾内埋没防止：ワイングラス型防波堤
etc.
 - (2) 波・潮の概要
沿岸海域…陸域の影響の強い海域
etc.
 - (3) 幾つかの波の基本特性
波動理論、波の基本諸量 etc.
 - (4) 波の制御・変形
水面波形の公式、波の主な変形原因、波の反射と反射率 etc.
 - (5) 津波の変形と津波防波堤
高波と津波の違い
高波：海面付近のみが波打つ
波のエネルギーが小さい
津波：海底から海面まで全体が押し寄せる
波のエネルギーが大きい
日本海中部地震津波からの学習
 - ① 津波は波でなく壁
 - ② 轟音と共に津波が襲来
 - ③ 10 秒前後の周期の短い波が発達
 - ④ 津波はボア状（段波状）
 - ⑤ エッジ波やエッジボアが発生
 - ⑥ 直線海岸でも津波の遡上が極めて大きくなる場合ありetc.
 - (6) おわりに
レベル 3 の外力に対する避難場所の確保が必要